

慶應SDM開設10年記念公開講座

入場無料

9～15歳を世界市民にするシステム

定員200名
事前登録制

定員になり次第、受付を終了します

《ゲストスピーカー》

特定非営利活動法人パンゲア

共同創設者・副理事長・最高技術責任者

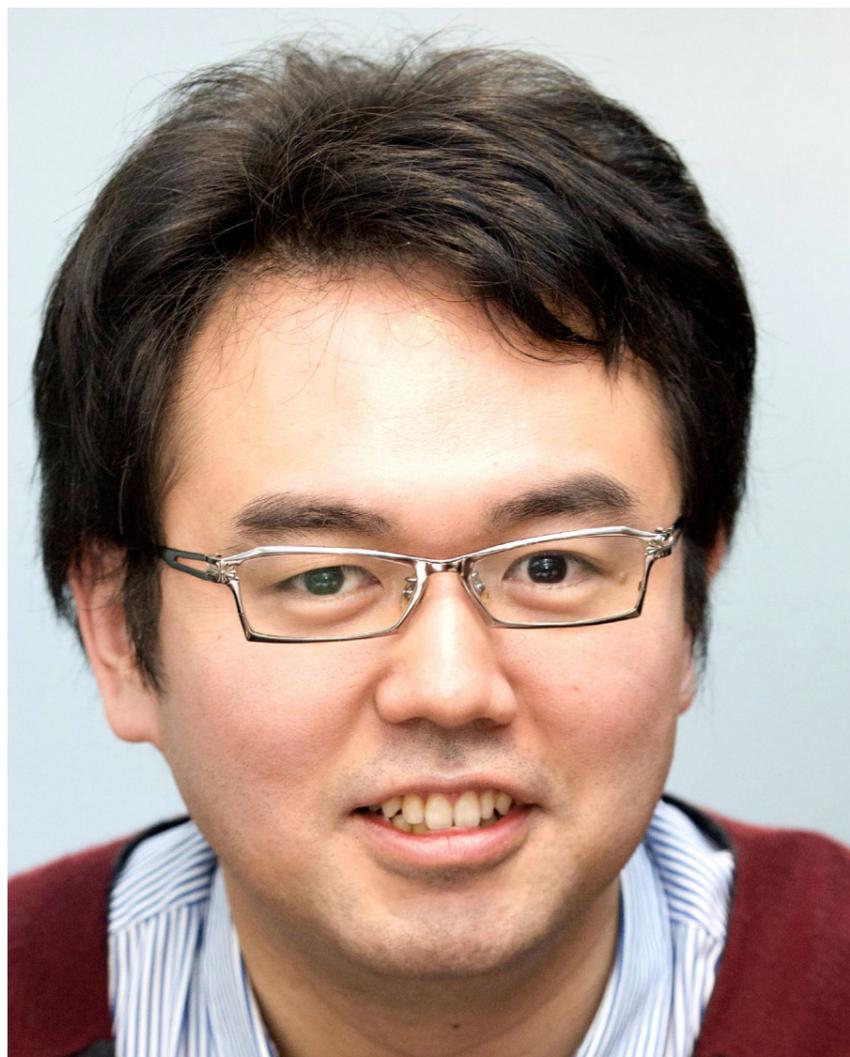
高崎 俊之 氏

2019年6月21日(金)19:00～20:30

慶應義塾大学 日吉キャンパス 独立館DB201教室

(18:30開場)

モデレータ:
SDM教授
谷口智彦



〈講演概要〉

まだ年若いうちに、異国の誰彼を思いやる気持ち、心の習慣を培うことができたならどんなにいいだろうか――。

高崎俊之氏がそう強く自覚したのは、2001年9月11日に「起きずに済んだ」ある奇跡的偶然がきっかけです。

発足したのが、インターネットを仮想世界にし、多様な国の9～15歳が交流し合う場「パンゲア」でした。

「PANGAEA」と綴るこの単語、大昔に存在したと考えられる一大大陸を指すギリシャ語だとか。

小学校中学年から中学生くらいの同世代たちが、日本、韓国、カザフスタン、オーストリア、ケニアやブータンから同じ広場に寄り集まって、何を、どんな言葉で伝え合うのでしょうか。ヒント。英語ではありません。

15年に及ぶパンゲアの活動は近年大いに注目を集め、先頃は「国際交流基金地球市民賞」を得たばかり。

また高崎氏は自らの営みを論文にまとめ、京都大学から博士号を獲得しました(2017年、卒業式学生代表)。

「へえー」、「ほおー」、「なるほどー」の驚きに満ちた講話となること請け合いです。万難を排してご参加ください。

(谷口智彦)

〈高崎俊之氏プロフィール〉

1999年東京大学工学部を卒業、同大学院でウェアラブル情報ネットワークなど研究し、2001年3月、同大院新領域創成科学研究科で修士号。同年6月MITメディアラボ客員研究員。同僚だった森由美子氏と共有したある体験をもとに、パンゲア創設、現在同NPO法人(京都)で副理事長、最高技術責任者。2017年3月京都大学大学院情報学研究科から「児童のための異文化コミュニケーション環境」と題した論文で博士号を得た。



SDM
System Design and Management

お申し込み:慶應SDMホームページよりご登録ください。

お問い合わせ先:慶應義塾大学日吉学生部 大学院担当
Phone: 045-564-2518